

みずほCustomer Desk Report 2017/12/20号(As of 2017/12/19)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.65
TKY 9:00AM	112.58	1.1784	132.67	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.08	1.1849	133.91	1.3379	0.7664
SYD-NY Low	112.52	1.1777	132.62	1.3402	0.7684
NY 5:00 PM	112.89	1.1839	133.65	1.3331	0.7647
NY DOW	24,754.75	103.01	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,963.85	▲ 30.91	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,681.47	5.66	米国2年債	1.8505	2.07bp
日経平均	22,868.00	▲ 33.77	米国5年債	2.2187	5.22bp
TOPIX	1,815.18	▲ 2.72	米国10年債	2.4581	6.48bp
シゴ日経先物	22,810	▲ 190	独10年債	0.3775	7.10bp
ロンドンFT	7,544.09	7.08	英10年債	1.2060	5.90bp
DAX	13,215.79	▲ 96.51	豪10年債	2.5505	0.00bp
ハンセン指数	29,253.66	203.25	USDJPY 1M Vol	6.20	▲ 0.18%
上海総合	3,296.54	28.62	USDJPY 3M Vol	7.38	▲ 0.09%
NY金	1,264.20	▲ 1.30	USDJPY 6M Vol	8.03	0.00%
WTI	57.56	0.34	USDJPY 1M 25RR	-0.50	Yen Call Over
CRB指数	186.02	0.60	EURJPY 3M Vol	7.73	▲ 0.08%
ドルインデックス	93.44	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	8.19	0.05%

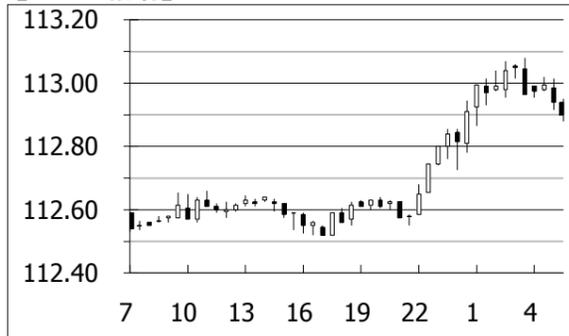
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月19日	9:30	豪 RBA議事録(12/5開催分)「景気先行きは楽観的、低調な消費支出はリスク」		
	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	12月 117.2/109.5/125.4	117.5/110.7/124.7
	22:30	米 住宅着工/建設許可件数	11月 1297K/1298K	1250K/1270K
	22:30	米 経常収支	3Q ▲\$100.6B	▲\$116.2B

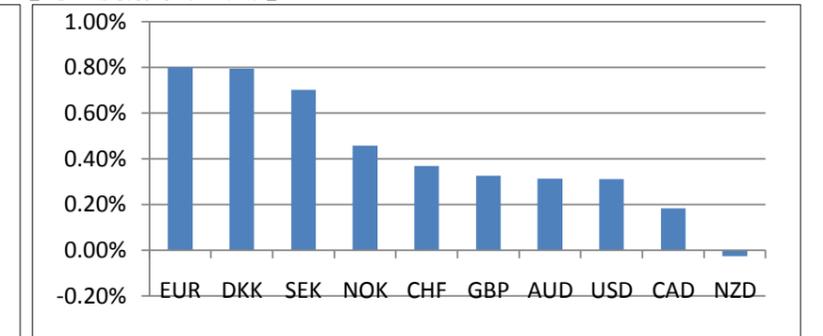
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月20日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/2.6%	0.3%/2.7%
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.3%
	22:15	英 カーニー-BOE総裁 講演	-	-
12月21日	0:00	米 中古住宅販売件数	11月 5.53M	5.48M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.40-113.20	1.1800-1.1880	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は上昇。米11月住宅着工件数の結果が堅調だったことや米税制改革法案が下院で可決されたことを受け、米長期金利が2ヶ月ぶりの高水準に上昇すると、ドル円は一時113円台を回復。本日のドル円相場はレンジ内で推移すると予想。米税制改革への期待等を背景に、米長期金利が上昇したものの、税制改革案の無事通過はほぼ織り込み済みであり、更なる日米金利差の拡大は見込みにくいだろう。クリスマス休暇に近づいていることもあり、閑散相場が継続し、ドル円は112円後半を中心とした推移になりそうだ。

東京	クリスマス休暇が近づき市場参加者が少なくなり薄商いとなる中で東京時間のドル円は112.58レベルでオープン。日経平均株価が前日比プラスで寄り付いたこともあり、ドル円は仲値にかけて一時112.66まで上昇。しかしその後は流動性が薄い中で特段の材料も無くドル円は小幅にレンジ推移。引けにかけては、日経平均株価がマイナス圏に反落したこともありドル円はじり安の展開から一時112.54まで下落。東京時間のドル円は結局12銭と非常に狭いレンジでの推移となり、112.59レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.59レベルでオープン。税制改革法案の採決に注目が集まる中、期待感から112.68円まで上昇。112.66レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1791レベルでオープン。12月の独IFO業況指数が117.2と予想(117.5)に反して前月(改定前117.5→改定後117.6)から低下し、一時1.18台前半まで上昇していたユーロドルは1.1791付近まで軟化。しかしその後、ユーロ圏のブレイク・イーブン・インフレ率(5年後から5年間の期待インフレ率を反映)が2月下旬以来の高水準に上昇する中で反発する展開。結局1.1829まで堅調に推移し、そのままのレベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	クリスマス休暇を控え、金融市場では積極的な動きが手控えられる中、海外時間に112.52-68での推移が続いたドル円は、112.66レベルでNYオープン。朝方は薄い取引の中、米10年債利回りがここ最近のレンジである2.4%を上げ続ける展開に、ドル円は上昇。朝方に発表された米11月住宅着工件数が予想を上回ったこともあり、ドル円は112.85まで上昇する。その後一旦利益確定のドル売りに112.73まで下押しするが、米税制改革法案を巡って上院で採決を取ることが明らかとなる中、この日予定していた下院での採決に対する期待感もあり、10年債利回りは2.47%付近まで上昇、ドル円もこの日の高値となる113.08まで上伸。午後は下院で税制改革法案が可決され、やや金利の上昇が落ち着いたことからドル円は小緩み、112.89レベルでクローズした。一方、欧州債金利上昇を受けユーロドルは下値を切り上げ1.1829レベルでNYオープン。朝方はユーロ買いが強まる一方、ドル買いも優勢となったことから1.1805まで反落するが、その後は1.1820付近での推移が続く。午後にかけては特段ニュースが見当たらない中、ユーロ買いが強まり1.1849まで上昇。その後も、米下院で税制改革法案が可決され、利益確定のドル売りがやや持ち込まれたことから、ユーロドルは高値圏での推移が続き、1.1839レベルでクローズした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田才・鶴田